



小山正武

こやま まさたけ

かがやく
都市・
横浜へ

政策レポート VOL.

3

8月3日は横浜市長選挙です。

変えよう!!

横浜市民ファーストで市民の命をまもる!!

子育て

政策3本柱

経済

防災

なぜ、横浜市において中学校給食は永年の課題でした。

「親の愛情弁当」から選択制「ハマ弁」、そして全員喫食の「ハマ弁」。

4年前の横浜市長選挙、当選された現職の主要公約には「中学校給食の実現」とありました。

全員喫食のお弁当・・・これが真の中学校給食といえるのでしょうか？

こやままさたけ
小山正武

は「育ち盛りのお子様にはおなか一杯おいしい給食を食べてもらいたい」との思いで
自校方式での給食実現を訴えます。

小中学校の体育館を防災拠点として建替え整備し、その際に厨房設備を備えることで実現します。

もちろん関わる企業は市内に本拠を構える企業に限ります。

こどもの元気は市民の元気、横浜に元気と活力を。真の中学校給食実現で。

「横浜にまさるあらめや」を取り戻す!! そして「変えよう!! 横浜を!!」

8月3日は**横浜市長選挙**です。ぜひ関心をお寄せください。

【プロフィール】

小山正武プロフィール

1949 年生まれ

1977 年 業務用野菜販売つま正（現株式会社つま正）創業

以降、横浜市場水産・中央市場物産・ガトーよこはま・こまつな保育園などの事業を展開
するつま正グループを率いる

2011 年 ライオンズクラブ国際協会 330 - B 地区第 47 代ガバナー

現 職

・（一社）新日本調理師会会長

・神奈川・港北間税会会長

・横浜中央市場通り商店街会長

・日本赤十字社代議員

・東京国税局間税会連合会常務理事

・横浜商工会議所役員待遇者

・日本赤十字社神奈川県支部評議員



自校方式の給食 実現への プロセス

- 防災減災対策を兼ねた小中学校体育館の建替えに際し厨房設備を整備して、自校方式の給食を実現します。
- 木造密集地域の中学校を優先とし、建て替え完了次第順次可能な学校から自校方式へと移行します。
- 全小中学校の体育館建て替えを 10 年目途としておりますが、中学校を優先とすることで 4～5 年での自校方式完全移行を目途とします。講堂（運動場）は上層階とし、避難所機能を。



給食の実現と子 育て支援で 横浜を元気に

- 給食に係る予算を増額し、質の高い給食をおなか一杯食べていただき、食育を推進します。
- 地産地消の取り組みをさらに進めます。
- 給食費の家庭負担をゼロにするほか、中学卒業までの保育・医療・教育にかかる費用の家庭負担をなくします。



市内循環で経済を 回し、中学校給食を

- 体育館建替えや給食業務の委託先は市内本拠の業者に限定します。
- 主要財源として市民および市内企業に限定した市民債（10 年 2 %・20 年 3 %）を発行します。

その他の政策はホームページ・SNS をご覧ください。
 ご意見お待ちいたしております。



【お問い合わせ】

小山正武政経懇話会事務局

横浜市神奈川区栄町88-1 つま正ビル4 階4号

TEL 045-755-7220 FAX 045-755-7221

Email : koyama.m.office@gmail.com

【発行】

横浜市民ファーストの会